

# 日本共産党 市議員団 ニュース

発行  
日本共産党  
川西市議員団  
市役所控室  
TEL740-1111  
内線4020  
議員団直通  
FAX759-1811

市議員  
土谷一郎  
TEL・fax 793-2134  
住田由之輔  
TEL・fax 759-4541  
黒田 みち  
TEL・fax 790-3055  
大塚寿夫  
TEL・fax 793-2243

## 九月議会報告その一

○七年九月市議会が八月三十一日〜九月二十七日の間開催されました。主な議案について報告します。

### 平成十八年度企業会計決算

土谷議員・住田議員が  
審議に参加しました

### 水道事業会計決算

#### 県営水道の受水単価引き下げを強く要望

県営水道の受水単価が水道事業会計に決定的な影響をもたらしています。川西市の水道事業はその給水源として、県営水道から受水している「県水」、県に委託して受水する「委託水」、市が独自に地下水をくみ上げている「自己水」があります。

受水量の一番多い「県水」(1トン当たり152円)の単価を引き下げる必要があります。来年度は1トン当たり146円となる見込みですが、水道料金の引き下げにはいたりません。鉛管取替えの早期実現、引き続き「県水」の受水単価引き下げを強く要求しました。

### 病院事業会計

#### 国の医療改悪を市民に

#### おしつめた決算に反対

国の医療改悪によって、平成18年4月から診療報酬が過去最大の3、16%引き下げられました。10月からは70歳以上の高齢者には居住費(ホテルコスト)の自己負担を導入し、食費も見直し、市民に大きな負担が押し付けられています。

「医療費の抑制」「負担の公平」の名で医療改悪を行ってきた国の責任ではあるが、これをそのまま市民に押し付けている決算は認められないと反対しました。

また、小児科、産科など、不採算部門を担っている自治体病院の役割の強化、猪名川町などとの広域連携、経営懇話会からの「答申」の具体化、患者の負担軽減からも後発医薬品の採用をさらに増やすなど、意見・要望を述べました。

## 議員1人年間72万円の政務調査費

### 当然ですが・・・「やっと」です 収支報告書に領収書添付

### 日本共産党議員団 制度発足当初から主張

昭和62(1987)年から発足した「調査研究費交付要綱」で支給開始された調査研究費。その後日本共産党議員団は、市長の買収事件が起き議会改革を進める中で、税金の用途を透明化すべく訴えてきました。そのひとつが「調査研究費」です。

平成13(2001)年4月1日施行で名称を改め「政務調査費条例」が発足。その折にも、また平成17年の議会改革のときにも領収書の添付、市民に公開すべく訴えてきました。当時日本共産党以外は一党派数名が賛成するだけで、保守系議員、公明党、連合市民クラブなど賛成しませんでした。

### 全議員一致で議員提案

近年各地で「政務調査費」の使途がマスコミでも頻繁に取り上げられるようになりました。ある地方の公明党議員団は選挙中の食事代、家用車の車検代などにも流用していたことが発覚、批判を浴びました。阪神間では川西と西宮が領収書の公開がされていないなか、7月に西宮で、川西でもやっと全会派一致で条例化できました。



### 西宮で議員名公開する タクシー券で「北新地」 「祇園」

西宮市は十月十日、日本共産党西宮芦屋地区委員長ら市民に初めて公開しました。それによると、自民党系会派幹事長、公明党議員、無所属議員が大阪北新地や祇園への使用していたことがあきらかになりました。

9月議会議案態度一覧

| 議案名  | 共産党 | 連合市民ク | 市政会 | 公明党 | 智政会 | 自治市民ク | 無所属 |
|--|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|
| H18年度水道事業会計決算                                      | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| H18年度病院事業会計決算                                      | 反対  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| 久代1ため池廃止   | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| 高規格救急自動車買入れ  | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| 市長の資産等公開条例で<br>郵政民営化に伴い字句の変更                       | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| H19年度水道会計補正予算                                      | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| 栄保育所廃止条例   | 反対  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 反対    | 賛成  |
| H19年度老人保健事業特別会計補正予算(第1回)                           | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| H19年度介護保険事業特別会計補正予算(第1回)                           | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| 地区計画区域内建築物制限条例で<br>郵政民営化法制定に伴う字句の変更                | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| H19年度一般会計補正予算(第1回)                                 | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |
| 栄保育所廃止を急いで決めないことを求める請願 栄保育所廃止条例が可決されたので自動的に不採択になった |     |       |     |     |     |       |     |
| 市議会政務調査費収支報告書に<br>領収書添付を義務づける条例                    | 賛成  | 賛成    | 賛成  | 賛成  | 賛成  | 賛成    | 賛成  |

### 川西市議会交渉団体

| 交渉団体名   | 幹事長名  | 所属議員名 |       |       |      |       |    |  |
|---------|-------|-------|-------|-------|------|-------|----|--|
| 連合市民クラブ | 土田 忠  | 越田謙治郎 | 安田忠司  | 津田加代子 | 小山敏明 | 多久和桂子 | 6人 |  |
| 市政会     | 中礼思無哉 | 倉谷八千子 | 上馬 勇  | 宮地尊士  | 松田恭男 | 久保義孝  | 6人 |  |
| 公明党     | 志水隆司  | 江見輝男  | 平岡 讓  | 大矢根秀明 | 岩田秀雄 |       | 5人 |  |
| 日本共産党   | 住田由之輔 | 大塚寿夫  | 土谷一郎  | 黒田美智  |      |       | 4人 |  |
| 智政会     | 吉富幸夫  | 西山博大  | 梶田忠勝  | 安田末廣  |      |       | 4人 |  |
| 自治市民クラブ | 北上哲仁  | 宮坂満貴子 | 小西佑佳子 |       |      |       | 3人 |  |
| 交渉団体無所属 |       | 吉田 進  | 前田 貢  |       |      |       |    |  |



# 許せません！ 栄保育所廃園

## 反対したのは自治市民クラブと日本共産党

### 黒田議員が反対討論



**保護者が納得できる  
説明ないまま進める**

2005年（平成17年）10月に保護者や職員に全く知らせず「栄保育所廃園・旧桜ヶ丘幼稚園跡地での民間認可園建設」が議会先行発表という形で明らかにされました。

民営化による保育サービスの充実、コスト論・待機児童の解消・次世代育成支援対策行動計画の目標達成・栄保育所の老朽化などを並べ、保護者へ説明会等が持たれましたが、納得されないどころか、話し合いは頓挫。

保護者に納得できる説明をしない上、説明会を開催した事だけを既成事実として積み上げていく行政側の進め方に対し保護者に拒否され、今現在も行政は説明会をもてないでいます。

#### 保育所配置の 計画がない

市役所を中心に半径1.5kmの場所に公立保育所5ヶ所・民間認可園3ヶ所が密集していること、市内南部では、乳児保育、8時までの延長保育などの実施がないこと、まして、清和台・けやき坂地域、美山台・丸山台地域などは保育所そのものがないなど地域差が著しく、中央部に建設する理由のないことも明らかにされました。

待機児童数は多田以北に多いなど著しい地域の偏りがあります。

市内の地理的な条件や入所・待機児童の状況や町づくりは考慮されず、目に見える保育メニューの項目や目標数値のみにこだわり、わざわざ公立園を廃園してまで同じ地域に民間園を建設するムダや、市内の子育てにとっても無責任なあり方がきびしく問われます。

#### 待機児童解消を

待機児童解消についても、栄保育所を廃園にする必要性はありません。

今年度初めでも認可園は70名の待機児童。途中入所ですらに60名が保育所に入っているにも関わらず、8月現在74名の待機児童をかかえています。

その内訳は、保育所の密集地では72%が3歳未満児、全体でも60%が3歳未満児という状況にあること、他市町の保育所に通うこどもが25人、無認可保育所に入所しているこどもが457人と認可保育所への需要はまだまだ大きく、廃園必要なしといわざるをえません。



2005年の国勢調査で明らかになっているように、様々な社会的背景の影響も受け、就学前のこども達の約30%が保育所へ通っているという実態があります。川西市では、05年10183人の就学前のこども数ですから、国の平均でいくと3054人に保育所が必要となります。120名定員の保育所がひとつ建設するために60人の保育所をつぶすのですから、全く待機児童の解消にはならぬことは明らかです。

#### 公的保育所を守れ

厚生労働省が2006年に公表した過去6年間の保育所の死亡事故数によると、認可外保育所の死亡事故発生率は認可園の20倍を超えています。公的保育所の補完的役割を担ってきたという点や認可外保育所の全てが劣悪なのでありませんが、国の官から民への方針や規制緩和に次ぐ規制緩和によって、経費削減が優先され、民間がどこでも保育所を営営できるようにしてきました。

従来、民間では経営が成り立たない福祉のための保育所は公立で建設、国の補助割合も高かった歴史があります。しかし、国が公の責任の放棄、コスト削減、自己責任論で、民間への市場開放を進め、公立園を廃園、民間園へと移行させています



#### 市として福祉を守れ！

川西市行財政改革審議会でも「福祉や教育のお金は減らさないでほしい」「やっていたことを変更するときには市民に十分説明をし、理解を求めるように」などの意見が出されています。

今、川西市の子育てが大きく問われています。美しい言葉だけを並べるのではなく、保護者が本当に納得し、安心してこどもを産み育てたいと実感できる子育て施策や計画のあり方、予算のあり方も含めて市立栄保育所の廃園ではなく存続するよう、1・2歳児の受け入れも市の責務としておこなうよう強く求めます。

#### どの子にも 良い保育を

また、民間認可園の選考委員会において、付帯意見がつけられています。

○行政の進め方が市民の不信感を得ないまま実行されることで無理や齟齬が生じることに十分配慮すること  
○選考された法人が3歳未満児の保育経験がないことから、整備計画段階から行政が責任をもって対応すること

○公立園と比較して大きく保育の質をおとすことのないよう取り組むこと、公費補助のあり方も含め、誠実に対応するよう強く書かれていたことを行政として、責任をもって必ず実行するよう強く要求しました。

